

第3回10月 阪大本番レベル模試（2021年10月3日実施）

採点基準 英語 外国語学部

I

(A) (20点)

【下線部】

① in the Paris subway system / ② users insert a paper card the size of a movie ticket into a machine / ③ that reads the card, leaves a record on the card in order to render it “used,” and then pushes it out from the top of the machine. // ④ The cards have a magnetic strip on one side but are otherwise symmetric

【解答例】

パリの地下鉄システムでは、利用者が映画のチケットほどの大きさの紙製のカードを読み取り機に挿入するが、その機械はそのカードを読み取り、「使用済み」とするためにそれに記録を残し、機械の上部からそのカードを排出する。カードの片面には細長い磁気の部分があるが、その点を除けば（左右）対称である。

【基準】

- ・次の区分に分けて採点する。
- ・下記に言及されていない誤訳・訳抜けは**マイナス1点**。

	区分	配点	備考
①	in the Paris subway system (パリの地下鉄システムでは)	1	
②	users insert a paper card the size of a movie ticket into a machine (利用者が映画のチケットほどの大きさの紙製のカードを読み取り機に挿入するが、)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ users の誤訳・欠如は (-1) ・ insert (入れる・挿入する・差し込む) を「インサートする」としたものは (-1) ・ the size of a movie ticket が a paper card の補足説明になっていないものは (-2)
③	that reads the card, leaves a record on the card in order to render it “used,” and then pushes it out from the top of the machine. (その機械はそのカードを読み取り、「使用済み」とするためにそれに記録を残し、機械の上部からそのカードを排出する。)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ leaves 「残す」の意味に当たらないものは (-1) ・ render OC の誤訳・欠如 (-2) ・ reads(V₁) ..., leaves(V₂)..., and then (V₃) という並列構造の誤読は (-2) ・ reads(V₁) ..., leaves(V₂)..., and then (V₃) 時系列順に訳出されていないものは (-1)
④	The cards have a magnetic strip on one side but are otherwise symmetric. (カードの片面には細長い磁気部分があるが、その点を除けば(左右)対称である。)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ magnetic のカタカナ訳は (-1) ・ strip を stripe と混同したもの (ストライプ, しま (模様)) は (-1) ・ otherwise を「その他の点では(except for what has just been mentioned)」の意味で理解できていないものは (-1) ・ symmetric のカタカナ訳は (-1) ・ are の主語が The cards だと分かっていない訳出は (-2)

(B) (20 点)

【下線部】

① My intentions in general are supposed to be good, / ② but sometimes telling a story succeeds in the right way and sometimes in the wrong way. // ③ The only consolation I have is that / ④ however badly conceived and badly written – and therefore ambiguous – a story may be, / ⑤ the harm will always be less than that caused by terrible political and economic mismanagement.

【解答例】

私の意図は全体としては良いものであるはずだが、物語を語ることが正しい方向で成功するときもあれば、悪しき成果を招くこともある。私の唯一の慰めは、ある物語がどれほど着想がまずく、文章が下手で、それゆえあいまいであったとしても、その害は、政治的、経済的なひどい不始末が招く害よりも常に小さいであろうということだ。

【基準】

- ・次の区分に分けて採点する。
- ・下記に言及されていない誤訳・訳抜けは**マイナス1点**。

区分		配点	備考
①	My intentions in general are supposed to be good, (私の意図は全体としては良いものであるはずだ)	4	・ to 以下を「するために」と解釈したものは (-1)
②	but sometimes telling a story succeeds in the right way and sometimes in the wrong way. (物語を語ることが正しい方向で成功するときもあれば、悪しき成果を招くこともある)	4	・ the を「その」と訳出したものはそのつど (-1) ・ in the right way と in the wrong way が共に succeeds を修飾していないものは (-2)
③	The only consolation I have is that (私の唯一の慰めは…ということだ)	2	・ The を「その」と訳出したものは (-1) ・ The only consolation I have is が SV だと読み取れていないもの (=全体構造が「私の唯一の慰めは…である」となっていないもの) は (-2) ・ that 補語節を導く接続詞 that と理解していないものは (-2)
④	however badly conceived and badly written – and therefore ambiguous – a story may be, (ある物語がどれほど着想がまずく、文章が下手で、それゆえあいまいであったとしても、)	5	・ however を「しかしながら」と訳したものは (-2) ・ and therefore ambiguous が, badly conceived and badly written の結果になっていないものは (-2) ・ badly conceived / badly written / ambiguous の3つの要素全部が a story にかかっていると解釈できないものは (-2)
⑤	the harm will always be less than that caused by terrible political and economic mismanagement. (その害は、政治的、経済的なひどい不始末が招く害よりも常に小さいであろう)	5	・ will の訳漏れは (-1) ・ that = the harm と理解していないものは (-2) ・ that を caused 以下で修飾される代名詞だと分かていないものは (-2) ・ terrible, political, economic の3つが mismanagement にかかっているものは (-2)

II

設問(1) (12点)

下線部①が指す内容を日本語で具体的に説明しなさい。説明に必要な英単語はそのまま用いて構いません。

【下線部】

① Now the opposite is true, which is strange because clarity isn't even a regular form.

(①今ではその逆になっているが、それは不思議である。というのも、clarityは規則的な形ですらないからだ)

【解答例】

明白さを意味する言葉として[clearの名詞形として]、1世紀前はclarityよりもclearnessが広く使われていたが、現在ではclarityのほうが広く使われている[その逆である]ということ。

【該当箇所】

The viewer shows that a century ago, clearness dominated clarity.

(そのビューワーを見ると、1世紀前にはclearnessがclarityより圧倒的に多かったことがわかる)

区分	配点	必須項目
※clearnessを「クリアネス」、clarityを「クラリティ」など、英単語をカナ書きで説明していても減点しない。		
①	4点	● 「clearness / clarityが何であるかの説明」が何もないものは不可(−4点)。
②	4点	● 「1世紀前にはclearnessがclarityより優勢だった[多かった]」に相当する内容がないものは不可(−4点)。 (×) 「1世紀前」がないもの、誤りは−4点。 (×) 「1世紀前」を漠然と「以前は/昔は」としているものは−2点。
③	4点	● 「現在はclarityがclearnessより優勢である」に相当する内容がないものは不可(−4点)。 (×) clearnessとclarityの優劣関係を正反対に説明した誤りは−4点。
※趣旨そのものが違う場合は、その区分0点。 ※上記指定以外で、語句レベルで部分的にやや難がある箇所は、1箇所につき−2点。 ※項目のつながりなどまとめ方の不備は、1箇所につき−2点。 ※必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜−2点。 ※同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。 ※文末は不問。		

設問(2) (12点)

【設問】

下線部②の意味を日本語で表しなさい。

【下線部】

New words and grammatical rules are continually appearing, fighting for existence against established forms, and sometimes driving those old forms extinct.

【解答例】

新しい言葉と文法規則はひっきりなしに現れ、定着しようと既存の形と戦い、それらの古い形を消滅に追いやることもある。

区分	配点	備考
New words and grammatical rules 新しい言葉と文法規則は	2点	
are continually appearing, ひっきりなしに現れ,	2点	(×) 「～しているところだ」「～しつつある」は不可。
fighting for existence against ～ 定着しようと～と戦い	2点	
established forms, 既存の形	2点	(×) established に「昔の, 過去の, 古い」は不可。
(and) sometimes ～こともある／ときには～	2点	(○) and の訳出は不問。 (×) sometimes の訳漏れは不可。
driving those old forms extinct. それらの古い形を消滅に追いやる	2点	(×) drive O C が分かっているものは不可。
・区分内に1か所でも誤り・訳抜けがあれば、その区分 0点。		

設問(3) (12点)

【設問】

下線部③について、言語学者はどのように、誰より遅れているかを日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】

③Linguists are still behind. (言語学者は依然として立ち遅れている)

【解答例】

変化は、自然選択だけでなく、浮動というただの偶然によっても起こることを認めておらず、言語学者は進化生物学者より遅れている。／言語学者は、変化の背後にはそれを促す力が働くものだと考えており、偶然〔浮動〕を認めない点で、進化生物学者より遅れている。

【該当箇所】

But genes can also change in frequency for completely random reasons that have nothing to do with their owner's health or strength — and everything to do with just pure luck. That process is known as drift, and it took decades for evolutionary biologists to recognize that it's just as important for evolution as natural selection. (しかし、遺伝子はまったく規則性のない理由で頻度に変化することもあり、それは持ち主の健康や強さとは無関係で、すべてただの偶然によるものである。その過程は浮動 (drift) として知られており、それが自然選択と同じくらい進化において重要だということを進化生物学者が認めるまでには数十年を要した)

〔別箇所〕 When they see a change, they think there must be a directional force behind it. But I propose that language change, maybe lots of it, is driven by random chance — by drift.” (変化を見ると、彼らはその背後に指向的影響力 (= 自然選択) が存在するに違いないと考える。けれども、言葉の変化、おそらくその多くは、規則性のない偶然、つまり浮動によって引き起こされるという説を私は提唱している)

区分	配点	必須項目
① どのように	8点	<ul style="list-style-type: none"> ● 「変化は、自然選択だけでなく、[同様に]、浮動というただの偶然によっても起こることを認めていない」に相当する内容がないものは不可 (-8点)。 (1) 「(遺伝子の出現頻度の) 変化」に相当する内容がないものは-2点。 (2) 「自然選択 [自然淘汰]」への言及がないものは-2点。 (3) 「浮動 [偶然, 規則性のなさ] を認めない」に相当する内容がないものは-4点。 (×) drift を英語のままや「ドリフト」としたものは-2点。
② 誰より	4点	<ul style="list-style-type: none"> ● 「進化 (生物) 学者より」に相当する内容がないものは不可 (-4点)。 (×) 「生物学者」のみは-2点。 (×) 「evolutionary biologists より」と英語にしているものは不可 (-4点)。
<p>※趣旨そのものが違う場合は、その区分 0点。</p> <p>※上記指定以外で、語句レベルで部分的にやや難がある箇所は、1箇所につき -2点。</p> <p>※項目のつながりなどまとめ方の不備は、1箇所につき -2点。</p> <p>* 必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜 -2点。</p> <p>* 同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。</p> <p>* 文末は不問。</p>		

設問(4) (14点)

【設問】

下線部④が指す内容を *drive* と *split* の事例を使って日本語で具体的に述べなさい。説明に必要な英単語はそのまま用いて構いません。

【下線部】

④ In both cases, changes in one irregular verb — *drive or split* — may have irregularized others.

(どちらの場合も、1つの不規則動詞 (*drive* や *split*) の変化が、他の動詞を不規則化させた可能性がある)

【解答例】

不規則動詞 *drive/drove* が、自動車の普及によって一般化した影響で、*dive* の過去形が *dived* から *dove* になった。また、不規則動詞 *split/split* が、新しい意味の獲得によって広く使われるようになると、*quit* の過去形が *quitted* から *quit* になった可能性がある。

【該当箇所】

〔*drive* の場合〕 For example, *dove* began to replace *dived* at the same time that cars became popular, and *drive/drove* became common parts of English. (例えば、自動車が普及し、*drive/drove* が一般的な英語になったのと同時に、*dove* が *dived* に取って代わり始めた)

〔*split* の場合〕 Similarly, the move from *quitted* to *quit* coincided with the rise of *split/split*, which became much more widely used when it acquired a new meaning — to leave or depart. (同様に、*quitted* から *quit* への移行は、*split/split* の台頭と同時に起こったが、その時期に *split* は「去る、出ていく」という新たな意味を獲得し、それまでよりもずっと広く使われるようになった)

区分	配点	必須項目
①	7点	<ul style="list-style-type: none"> ●<i>drive</i> の変化 (4点) <ul style="list-style-type: none"> ・(原因)「自動車の普及 [人気, 登場] によって」(これがないものは-2点) ・(結果)「過去形 <i>drove</i> の使用頻度が上がった」(これがないものは-2点) ●他の動詞への影響 (3点) <ul style="list-style-type: none"> <u><i>dive</i> の過去形が <i>dived</i> から <i>dove</i> に変わった。</u> ※下線部の具体的な英語要素がないものはそれぞれ-1点。 ■上記をすべて満たしているが、説明中のどこにも「不規則 (<i>irregular</i> / <i>irregularize</i>)」に当たる言葉がないものは-2点。
②	7点	<ul style="list-style-type: none"> ●<i>split</i> の変化 (4点) <ul style="list-style-type: none"> ・(原因)「新たな意味を獲得したことで」または「<i>leave</i> や <i>depart</i> の意味で使われるようになったことで」(これがないものは-2点) ・(結果)「過去形 <i>split</i> の使用頻度が上がった」(これがないものは-2点) ●他の動詞への影響 (3点) <ul style="list-style-type: none"> <u><i>quit</i> の過去形が <i>quitted</i> から <i>quit</i> に変わった。</u> ※下線部の具体的な英語要素がないものはそれぞれ-1点。 ■上記をすべて満たしているが、説明中のどこにも「不規則 (<i>irregular</i> / <i>irregularize</i>)」に当たる言葉がないものは-2点。
<p>※趣旨そのものが違う場合は、その区分 0点。 ※上記指定以外で、語句レベルで部分的にやや難がある箇所は、1箇所につき-2点。 ※項目のつながりなどまとめ方の不備は、1箇所につき-2点。 ※必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。 ※同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。 ※文末は不問。</p>		

設問(5) (14点)

【設問】

下線部⑤について、do の事例を日本語で具体的に説明しなさい。説明に必要な英単語はそのまま用いて構いません。

【下線部】

⑤ In other cases, drift and natural selection work together to shape languages.

(別の事例では、浮動と自然選択が合わさって言語が形成されている)

【解答例】

do は、まず疑問文で無作為に使用されるという浮動が生じ、疑問文での使用が一般化すると、16 世紀には、否定文においても、使いやすさから自然選択が進み、使用が急速に広まった。

〔別解例〕 do は、まず浮動よって、無作為に疑問文に入り込み、Say you? の代わりに Do you say? という言い方が徐々に広まった。こうして do の使用が広まると、使いやすさから自然選択が進み、否定文でも You say not の代わりに You do not say という do を使う言い方が、16 世紀に急速に広まった。

【該当箇所】

〔浮動について〕 They concluded that at first, the word randomly drifted its way into questions, so that “Say you?” gradually became “Do you say?” (当初, do は不規則に疑問文の中に入り込み, Say you? が徐々に Do you say? になったと彼らは結論づけた)

〔自然選択について〕 Once it became common, natural selection started pushing it into new contexts like negative sentences, perhaps because it was easier for people to use it. (いったん do が一般的になると, 自然選択が進み, do は否定文のような新たな文脈に使われるようになったが, それはおそらく人々にとって do が使いやすかったからだろう)

区分	配点	必須項目
①	4点	<ul style="list-style-type: none"> ●まず, do は疑問文で無作為[恣意的, 任意, ランダム]に使われる浮動が発生した。 (×)「疑問文」がないものは不可(−4点)。 (×)「浮動」または「無作為に[恣意的に]使われる」のどちらもないものは不可(−4点)。
②	4点	<ul style="list-style-type: none"> ●疑問文での do の使用が一般化[定着]した。 (×)「疑問文」がないものは不可(−4点)だが, (○)区分①から自明ならなくて可。
③	4点	<ul style="list-style-type: none"> ●使いやすいので, 否定文にも使う自然選択が起きた。 (×)「否定文」がないものは不可(−4点)。 (×)「自然選択[自然淘汰]」がないものは不可(−4点)。 (×)「使いやすい」がないものは−2点。
④	2点	<ul style="list-style-type: none"> ●(否定文での do の使用が) 16 世紀に(急速に)広まった。 (×)「否定文」がないものは不可(−2点)だが, (○)区分③から自明ならなくて可。 (×)「16 世紀」がないもの, 誤りは不可(−2点)。
<p>※趣旨そのものが違う場合は, その区分 0 点。 ※上記指定以外で, 語句レベルで部分的にやや難がある箇所は, 1 箇所につき −2 点。 ※項目のつながりなどまとめ方の不備は, 1 箇所につき −2 点。 * 必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜 −2 点。 * 同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。 * 文末は不問。</p>		

設問(6) (14点)

下線部⑥について、英語の否定語の事例を日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】

The team also analyzed a third and more obscure grammatical change called ⑥ Jespersen's Cycle.

(チームはまた、⑥ イエスペルセン周期と呼ばれる、より曖昧な第3の文法変化も分析した)

【解答例】

動詞を否定する際、古英語では否定語は動詞の前に置かれていたが、中英語では動詞の前後、初期近代英語では動詞の後に置かれるようになり、現代英語では一周回って元に戻り、再び動詞の前に置かれるようになった。

【該当箇所】

In Old English, spoken before the Norman Conquest, speakers would negate a verb by putting a *not* in front of it. In Middle English, spoken between the 11th and 15th centuries, the negatives would surround the verb as they do in modern French (“*Je ne dis pas*”). And in Early Modern English, spoken between the 15th and 17th centuries, the negative followed the verb the Shakespearean “*I say not*.” Now, we’ve come full circle, back to “*I don’t say*.” (ノルマン征服以前に話されていた古英語では、話者は *not* を動詞の前に置くことで動詞を否定していた。11世紀から15世紀にかけて話されていた中英語では、現代のフランス語 (*Je ne dis pas*) のように、否定語が動詞の前後に置かれた。そして、15世紀から17世紀の間に話されていた初期近代英語では、シェイクスピアの *I say not* のように、否定語が動詞の後に置かれるようになった。現在は、ぐるりと一回りして、*I don’t say* に戻ったのである)

区分	配点	必須項目
①	3点	●古英語 [ノルマン征服以前 (の英語)] では、否定語の位置は動詞の前。 (×)「時期」または「否定語の位置」に誤りがあれば不可 (−3点)。
②	3点	●中英語 [11~15世紀 (の英語)] では、否定語の位置は動詞の前後。 (×)「時期」または「否定語の位置」に誤りがあれば不可 (−3点)。
③	3点	●初期近代英語 [15~17世紀 (の英語)] では、否定語の位置は動詞の後。 (×)「時期」または「否定語の位置」に誤りがあれば不可 (−3点)。
④	3点	●現代英語 [現在] では、否定語の位置は動詞の前。 (×)「時期」または「否定語の位置」に誤りがあれば不可 (−3点)。
⑤	2点	●一回りして戻った。 (×)「元に戻った/一周した/再び」といった <i>cycle</i> のニュアンスがないものは不可 (−2点)。
※趣旨そのものが違う場合は、その区分 0点。 ※上記指定以外で、語句レベルで部分的にやや難がある箇所は、1箇所につき−2点。 ※項目のつながりなどまとめ方の不備は、1箇所につき−2点。 *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜−2点。 *同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。 *文末は不問。		

設問(7) (12点)

下線部⑦の発言の趣旨を日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】

⑦ This is just the beginning of our research, which need not stop at written texts.

(⑦これは私たちの調査の始まりに過ぎず、文字で記されたものにとどまる必要はない)

【解答例】

これまでの調査対象は書かれた文章だけだったが、話された言葉の記録も調査する準備が整っているので、調査研究は始まったばかりだということ。

【該当箇所】

Spoken records are just as ready for investigation (as written texts).

「話された言葉の記録も（文字で記されたものと）同様に調査の準備ができています」

区分	配点	必須項目
①	4点	●これまでの調査対象は書かれた文章だけだった (○) written texts は「書き言葉」に相当するものを広く認める。
②	4点	●話された言葉の記録も調査する準備が整っている (○) Spoken records は「話し言葉」に相当するものを広く認める。
③	4点	●調査研究は始まったばかり [ところ] である／ようやく調査が始まった／調査はまだこれからである (×) just のニュアンスが全くない「調査が始まった」だけのものは－2点。
<p>※趣旨そのものが違う場合は、その区分 0点。 ※上記指定以外で、語句レベルで部分的にやや難がある箇所は、1箇所につき－2点。 ※項目のつながりなどまとめ方の不備は、1箇所につき－2点。 ※必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜－2点。 ※同じことを言っていれば表現やまとめ方は広く認める。 ※文末は不問。</p>		

Ⅲ（50点）

【設問】

「石の上にも三年」と言われます。努力を続ければいつかは報われるという意味ですが、このことわざについてのあなた自身もしくは他の人の経験を具体的に1つあげ、70語程度の英文で述べなさい。

【基準】

1. 語数

（70語程度）

49語以下，91語以上のものは0点。（「語数違反」と付記）

*明らかに過不足がありそうなもののみ語数カウントして確認して下さい。

2. 英語の正しさ

- ・ 軽微なスペルミスは1点減点。
- ・ 冠詞・単複・動詞の語形の誤り，語句の誤りなどすべて1箇所につき2点減点。
- ・ 文構造の誤りなど，広範囲に及ぶ誤りは1箇所につき－4点減点。

3. 構成面・内容面

1. 構成

基本構成は，次の2点を盛り込むことになるが，それぞれの不備の減点は，2. 内容において行う。

- ①自分，または他者の経験を1つ明示。
- ②それが「石の上にも三年」に当たることの記述。

2. 内容 ※この項目は明らかなものについてのみ減点。判断に迷うレベルのものは，内容面では減点しない。 (指定内容)

「石の上にも三年」と言われます。努力を続ければいつかは報われるという意味ですが，このことわざについてのあなた自身もしくは他の人の経験を具体的に1つあげ，70語程度の英文で述べなさい。

- ・ 指定内容とまったく無関係の事柄を書いているものは－50点。（「内容不適合」と付記）
（例）別のテーマの英作文の解答を書いているといった，真面目に答えていないものなど。
- ・ 経験をまったくあげていないもの－30点。（「指示違反」と付記）
（例）「石の上にも三年」のことわざの意味を説明しているだけで，経験談がないもの。
- ・ まったく関連性のない経験を2つ以上挙げているもの－20点。（「指示違反」と付記）
（例）「第1に～／第2に～」
- ・ 指定内容と大きくずれているものは－10点。（「内容不適切」と付記）
（例）「石の上にも三年」の経験，つまり努力〔辛抱〕を続けて報われた〔報われるであろう〕経験になっていないもの（何の努力もせずに成功した体験など）。
- ・ その他，文法的には正しいが内容が明らかに不適切な部分は1箇所につき－4点。
（例）内容的に意味が伝わらない。
（例）因果関係が明らかにおかしい。
（例）明らかな語数かせぎ（意味もなく同じ文を繰り返しているなど）。

IV

【設問】

次の日本語の下線部(1)～(3)の意味を英語で表しなさい。

【下線部(1)】

もちろん、彼らを認識していないわけではありません。彼らの存在を認めただうえで、自分のスマホに視線を落とし、相手への無関心を暗に伝えようとするのです。

【解答例】(20点)

(解答例 1) Of course, it doesn't mean that we don't know they are there. While acknowledging their existence, we try to implicitly convey our indifference to them by looking down at our smartphone.

(解答例 2) Needless to say, it doesn't follow that we are unaware of them. With an awareness of their presence, we look down at our smartphones and try to deliver an implicit message to them that we are not concerned with them.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	区分	備考
もちろん,	2点	
彼らを認識していない(わけではありません。)	6点	(×) we 以外の主語は不可(−2点)。ここで主語の誤りを減点をした場合、以下で同様の誤りは減点しない。
(彼らを認識していない) わけではありません。		2点
		2点
彼らの存在(を認めただうえで,)	4点	(×) them のみは不可(−2点)。
(彼らの存在) を認めただうえで,		2点
自分のスマホに視線を落とし,	2点	(×) 「落とす」のニュアンスがないものは不可(−2点)。
相手への無関心(を暗に伝えようとするのです。)	6点	
(相手への無関心) を暗に伝え(ようとするのです。)		2点
(相手への無関心を暗に伝え) ようとするのです。		2点
※ほぼ同等の意味が伝わる表現は広く認め、積極的に得点を与える。 ※区分全体として構造的に意味が通らないものはその区分 0点。 ※語句レベルの誤りを含む箇所は、1箇所につき−2点。 ※ただし、下記の軽微なミスは1箇所につき−1点にとどめる。 スペルミス、文頭の大文字の誤り、文末のピリオド等の欠落。		

【下線部(2)】

大勢の人が空間を共有する場合、私たちは他人同士として振る舞うのが一般的です。例えば、誰かが他人を睨(にら)んだりすれば、非常識だと非難されるでしょう。

【解答例】 (20 点)

(解答例 1) In a space that a lot of people share, we generally behave as strangers to each other. For example, if someone gazes at another person, he or she will be criticized for having no common sense.

(解答例 2) When many people share a place, we tend to act as strangers to one another. If you stare at someone, for example, you will be accused of lacking common sense.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	区分	備考
大勢の人が（空間を共有する）場合、	4 点	2 点
（大勢の人が）空間を共有する（場合、）		2 点
私たちは（他人同士として振る舞うの）が一般的です。	6 点	2 点
（私たちは）他人同士として（振る舞うの）が一般的です。）		2 点
（私たちは他人同士として）振る舞う（の）が一般的です。）		(×) as others (他の人のように) は不可 (-2 点)。
例えば、	2 点	
誰かが（他人を睨んだり）すれば、	4 点	2 点
（誰かが）他人を睨んだり（すれば、）		2 点
非常識だ（と非難されるでしょう。）	4 点	2 点
（非常識だ）と非難されるでしょう。		2 点
※ほぼ同等の意味が伝わる表現は広く認め、積極的に得点を与える。 ※区分全体として構造的に意味が通らないものはその区分 0 点。 ※語句レベルの誤りを含む箇所は、1 箇所につき -2 点。 ※ただし、下記の軽微なミスは 1 箇所につき -1 点にとどめる。 スペルミス、文頭の大文字の誤り、文末のピリオド等の欠落。		

【下線部(3)】

ところが、インターネットの世界では、こうした社会的合意が未形成です。そのため、目の前に相手がいれば言わない批判的なことを、つい書き込んでしまう人が多いのです。

【解答例】(20点)

(解答例 1)

However, in the world of the Internet, such a social agreement has not been established yet. That is why many people innocently write critical comments that they would never make if the person was present.

(解答例 2)

In cyberspace, however, such a social consensus has not yet been formed. Therefore, not a few people casually criticize others online, which they would never do face to face.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	配点	備考
ところが,	2点	
インターネットの世界では,	2点	
こうした社会的合意が(未形成です。)	4点	2点
(こうした社会的合意が)未形成です。		2点
そのため,	2点	(×) this is because (因果関係が逆)は不可(-2点)。
目の前に相手がいれば(言わない批判的なことを, つい書き込んでしまう人が多いのです。)	10点	2点
(目の前に相手がいれば)言わない(批判的なことを, つい書き込んでしまう人が多いのです。)		2点
(目の前に相手がいれば言わない)批判的なことを, (つい)書き込んでしまう(人が多いのです。)		2点
(目の前に相手がいれば言わない批判的なことを,) つい(書き込んでしまう人が多いのです。)		2点
(目の前に相手がいれば言わない批判的なことを, つい書き込んでしまう)人が多いのです。		2点
※ほぼ同等の意味が伝わる表現は広く認め、積極的に得点を与える。 ※区分全体として構造的に意味が通らないものはその区分0点。 ※語句レベルの誤りを含む箇所は、1箇所につき-2点。 ※ただし、下記の軽微なミスは1箇所につき-1点にとどめる。 スペルミス、文頭の大文字の誤り、文末のピリオド等の欠落。		

V

設問(1)

多くの芸術分野で、感情を伝えるために「目」が利用されるのはなぜですか。

【解答例】（12点）

目は表現力に富み、心の奥底の本当の気持ちを表すことができるから。

【該当箇所】

The eyes are so expressive that they can reveal how we really feel deep down inside.

（目はとても表情豊かなので、人が心の奥底で本当はどのように感じているのかを明らかにすることができる）

【基準】

必須項目		配点
①	<p>●The eyes are (so) expressive（目は（とても）表情豊か）に相当する内容。</p> <p>※「目が expressive である」に相当することが言えていればよい。 （○） expressive は「表情に富む，多くを語る」など可。</p>	6点
②	<p>●they can reveal how we really feel deep down inside（人が心の奥底で本当はどのように感じているのかを明らかにすることができる）に相当する内容。</p> <p>※「目は心の内の感情を明らかにする」，「目には本心が表れる」などが言えていればよい。 ※feel を修飾する，really または deep down inside のどちらの内容もないものは－2点。どちらかがあれば減点しない。 （×）「感情・気持ち・何を考えているのか（を明らかにする）」だけのものは－2点。</p>	6点
<p>※同様のことを言っていると認められれば表現は広く認める。 ※趣旨そのものが違う場合はその区分 0点。 ※まとめ方や部分的な表現に不備がある場合は，1カ所につき適宜－2点。 ※必須項目以外の内容を書いても原則不問とするが，大きな誤りは適宜－2点。 ※英語で答えたものは 0点。 ※文末は不問。</p>		

設問(2)

マーケティングの専門家は、人の目を利用して消費者を引きつけるために、広告の中の人物をどのように配置しますか。

【解答例】 (12点)

広告を見る人をまっすぐ見るか、視線をそらすかのどちらかで配置する。

【該当箇所】

They position the person in the ad in a way that the person is either looking directly at the viewers or looking away from them, depending on the goal of the ad.

（彼らは、広告の目的に応じて、広告の中の人物を、その広告を見ている人をまっすぐ見るか、視線をそらしているかのどちらかのやり方で配置するのだ）

【基準】 以下を必須項目とする。

必須項目		配点
①	<p>●the person is looking directly at the viewers（（広告の中の人物が、）広告を見る人を（まっすぐ）見る [見返す]）に相当する内容。 ※「視線が合う」ことが言えていればよい。</p>	4点
②	<p>●the person is looking away from them（（広告の中の人物が、）広告を見る人から視線をそらす [広告を見る人を見ていない]）に相当する内容。 ※「視線が合わない」ことが言えていればよい。</p>	4点
③	<p>●either ① or ② ※「①か②のどちらか」「①や [か, または] ②」「①だったり, ②だったり」など。 (×)「①と②を同時に配置する」など明らかに不適切なものは不可（-4点）。 (×)「①と②」のような、同時なのか別々なのかがあいまいなものは-2点。</p>	4点
<p>※同様のことを言っていると認められれば表現は広く認める。 ※趣旨そのものが違う場合はその区分 0点。 ※まとめ方や部分的な表現に不備がある場合は、1カ所につき適宜-2点。 ※必須項目以外の内容を書いても原則不問とするが、大きな誤りは適宜-2点。 ※英語で答えたものは 0点。 ※文末は不問。</p>		

設問(3)

社会心理学（social psychology）分野の研究者は、視線に関してどのようなことを言っていますか。

【解答例】（12点）

人は、視線をまっすぐ自分に向けている人の言うことは信用するのに対して、視線をそらす人には不誠実さを感じ、信用しない傾向がある。

【該当箇所】

Researchers in the field of social psychology say that if someone is looking directly at you, you tend to trust what they're saying. In contrast, those who look away convey a feeling of dishonesty and tend not to be trusted. 「社会心理学分野の研究者によると、相手がまっすぐに自分のことを見ている場合、人は相手の言っていることを信用する傾向があるという。反対に、目をそらす人は不誠実な感じがして、信用されない傾向がある」

【基準】

必須項目		配点
①	<p>●if someone is looking directly at you, you tend to trust what they're saying（相手がまっすぐに自分のことを見ている場合、人は相手の言っていることを信用する傾向がある）に相当する内容。</p> <p>※「自分を見る人〔視線を向ける人〕のことは信用する」ことが言えていればよい。</p>	6点
②	<p>●those who look away convey a feeling of dishonesty and tend not to be trusted（目をそらす人は不誠実な感じがして、信用されない傾向がある）に相当する内容。</p> <p>※「視線をそらす〔視線を合わせない／こちらを見ない〕人は、誠実に思えず、信用されない」ことが言えていればよい。</p> <p>(×) dishonesty（不誠実／不正直／嘘つき）に当たるものがないものは－2点。</p> <p>(×) not to be trusted（信用されない／信用できない）に当たるものがないものは－2点。</p>	6点
<p>※同様のことを言っていると認められれば表現は広く認める。</p> <p>※趣旨そのものが違う場合はその区分 0点。</p> <p>※まとめ方や部分的な表現に不備がある場合は、1カ所につき適宜－2点。</p> <p>※必須項目以外の内容を書いても原則不問とするが、大きな誤りは適宜－2点。</p> <p>※英語で答えたものは 0点。</p> <p>※文末は不問。</p>		

設問(4)

俳優たちは、観客が見えないように装うことで、観客にどのような効果をもたらしますか。

【解答例】（12点）

観客が現実から逃れて舞台やスクリーン上の別世界の中に入り込んだかのような気分になる, という効果。

【該当箇所】

When actors turn their gaze away from the audience, the audience feels as if they have escaped reality and have been transported into another world on the stage or screen.

「俳優が観客から視線をそらすと、観客は現実から逃れて舞台やスクリーン上の別世界の中に入り込んだかのような気分になるのである」

【基準】

必須項目		配点
①	<p>●the audience feels as if they have escaped reality（観客は現実から抜け出したような気分になる）に相当する内容。 ※「現実を抜け出した気分」が言えていればよい。 (×) reality に「リアリティ」は−2点。</p>	6点
②	<p>●the audience feels as if they have been transported into another world on the stage or screen（観客は舞台やスクリーン上の別世界の中に入り込んだかのような気分になる）に相当する内容。 ※「舞台や画面の中の（別）世界に入った気分」が言えていればよい。 (×) stage / screen のどちらもないものは−2点。</p>	6点
<p>※同様のことを言っていると認められれば表現は広く認める。 ※趣旨そのものが違う場合はその区分0点。 ※まとめ方や部分的な表現に不備がある場合は、1カ所につき適宜−2点。 ※必須項目以外の内容を書いても原則不問とするが、大きな誤りは適宜−2点。 ※英語で答えたものは0点。 ※文末は不問。</p>		

設問(5)

洗剤などの機能的な製品の宣伝では、どのような目的で、どのような広告がよく用いられますか。

【解答例】（12点）

消費者との信頼関係を築くために、まっすぐに相手を見つめるタイプの広告を用いる。

【該当箇所】

However, the direct gaze type of advertising is often seen in commercials for products that are more functional, like laundry detergent or dish soap. 「一方、まっすぐに見つめるタイプの広告は、洗濯用洗剤や食器用洗剤のような、より機能的な製品のコマーシャルで見られることが多い」

Direct gaze ads are used to create a connection and trust with the consumer by making them feel as if they have been acknowledged and understood. 「まっすぐ見つめる広告は、自分のことを認めて理解してくれたように感じさせることによって、消費者との結びつきや信頼関係を築くために使われる」

【基準】

必須項目		配点
①	<p>●... are used to create a connection and trust with the consumer (by making them feel as if they have been acknowledged and understood) ((自分のことを認めて理解してくれたように感じさせることによって,) 消費者との結びつきや信頼関係を築くために使われる) に相当する内容。</p> <p>※「消費者との(結びつきや)信頼関係を築くため」が言えていればよい。</p> <p>(×) trust (信頼, 信頼関係) に相当するものがないものは-4点。「(消費者に)信用してもらい、(消費者を)信用させる」なども可。</p> <p>(×) consumer に、漠然と「相手」は-2点。</p>	6点
②	<p>●the direct gaze type of advertising / Direct gaze ads (まっすぐに見つめるタイプの広告) に相当する内容。</p> <p>※「見つめてくる広告」が言えていればよい。</p> <p>(○)「まっすぐに」はなくても可。</p>	6点
<p>※同様のことを言っていると認められれば表現は広く認める。</p> <p>※趣旨そのものが違う場合はその区分0点。</p> <p>※まとめ方や部分的な表現に不備がある場合は、1カ所につき適宜-2点。</p> <p>※必須項目以外の内容を書いても原則不問とするが、大きな誤りは適宜-2点。</p> <p>※英語で答えたものは0点。</p> <p>※文末は不問。</p>		